

平成26年度 スーパーグローバル大学等事業 スーパーグローバル大学創成支援  
審査結果表

大学名	東京大学	申請区分	タイプA
構想名	東京大学グローバルキャンパスモデルの構築		

〔評価コメント〕

貴学が日本のトップ大学として、本構想において、単に欧米のトップランキング大学の後追いをするのではなく、「非英語圏の日本に位置する世界トップレベルの研究型総合大学のグローバルキャンパスモデルを構築」することを目的としたことは、非常にユニークであり、高く評価できる。

一方で、学部学生を含め在学中に留学の機会を増やすため、4ターム制を導入することを決定しているが、日本人学生が留学しやすくなると、事務の仕事はこれまでと全く異なる発想を持つことが必要となる。UGA (University Globalization Administrator) の導入は望ましいが、解決すべき問題は様々であり、日本の大学が多く日本人学生を留学させるモデルとして、全国にこの取組を発信し、日本の大学教育のグローバル化の推進に資することが期待される。

また、「日本語による高度な研究と教育」強化のための「東京大学日本語教育機構（仮称）」が設置され、また英語で「日本」について学べる「国際総合日本学」が開設されることは評価できるが、関係する教職員の英語発信力の向上が課題である。

最後に、今回「スーパーグローバル大学創成支援」に採択された貴学におかれては、10年後の大学の姿を見据え、徹底した「大学改革」と「国際化」を断行し、我が国の高等教育の国際競争力の向上に中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、構想内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。